

平成二十三年一月二十八日提出
質問 第二八号

地方における医師不足解消のための女性医師の活用に関する質問主意書

提出者 橘 慶一郎

地方における医師不足解消のための女性医師の活用に関する質問主意書

近年、地方においては医師不足が生活上の重要な問題と認識されており、臨床研修医の確保や医学部定員における地域枠の設定など、真摯な対応が取られているところである。国においても、都道府県が設置する地域医療支援センターへの財政支援の検討や医学部定員の引き上げなどの措置を講じているところだが、地方における医師不足への対応策として、医師免許を持ちながら、子育て等の事情により、医療に従事できず、あるいは就業時間を制限せざるを得ない女性医師に、その能力を十分に発揮いただいてはいかかかと考える。については、現状及び今後の可能性について、以下四項目にわたり質問する。

- 一 医師免許を持ちながら、医療に従事していない女性医師の数を把握されていれば、示されたい。そのうち、環境が整えば医療に従事する可能性のある者の数についてはいかがか。
- 二 子育て等の事情により、就業時間を制限せざるを得ない者の数を把握されていれば、示されたい。
- 三 一及び二に該当する女性医師の活用により、地方における医師不足解消に多少なりとも寄与できるのではないかと考えるが、内閣の見解を伺う。

四 女性医師が医療に従事できる環境を整える観点から、延長・夜間保育の可能な病院内保育所を整備する

ことが有効と思われるが、内閣の見解を伺う。また、医療圏の中で、医療施設が共同で病院内保育所を設ける取組を国として支援することについての内閣の見解を伺う。

右質問する。